

本学の教学におけるコロナ対応について

上田女子短期大学 学長 小池 明

◆前期

4月、第1回目の授業を終えたところで、緊急事態宣言（4月7日）を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一斉休講にはいりました。

第5回目の授業から、遠隔授業（主に課題提示型）により、授業を再開しました。緊急事態宣言の解除（5月25日）により、罹患者数の推移・発症地域等を注視しながら、第9回目の授業からは、演習科目を中心に対面授業を部分的に復活させました。さらに、第12回目の授業からは、全面的に対面授業となりましたが、一部の授業は、遠隔授業を継続したものもあります。

休講、遠隔授業による再開の間（4～5月）に、「3密」を避けるために、教室の座席の指定、大教室を中継機材で接続するなどの対応をとりました。また、掲示・メール・放送等により、日々注意喚起を徹底し、学期末まで、罹患者を出さずにすみました。

◆後期

文部科学省からは、対面授業と遠隔授業の併用が推奨されています。前期の経験を活かし、「3密」を避けながら、授業を展開していきます。

目下、各教員が担当科目の実施方法を見直しています。日々変化する感染の拡大状況に対応して、シラバスを見直し、すべての回を遠隔授業に切り替える、もしくは対面授業に遠隔授業を織り交ぜる等の変更をします。

変更のある科目については、HPを中心に情報発信します。

◆21年度

20年度後期の授業形態を、さらに現実に合わせる形で磨き上げます。

（すべての科目が従前のように対面で行えないことを想定して、その時点での最善の授業形態を提供すべく、より現実的な対応をしていきます。）